

2023年3月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について (株式会社INPEX)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社INPEX(代表取締役社長:上田 隆之、以下「INPEX」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(「LMA」)(※1)等が定めた「グリーンローン原則」に則した「グリーンローン」(以下「本件」)の融資契約を締結いたしました。

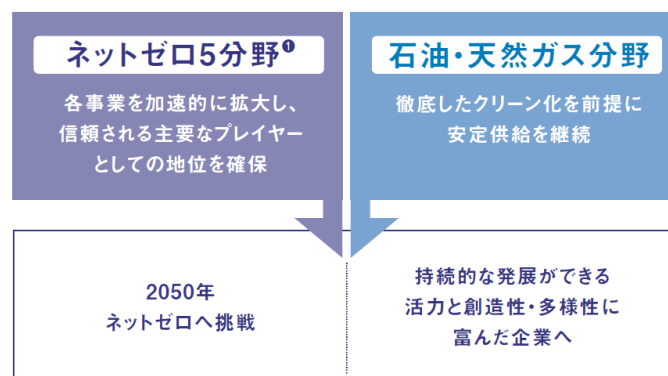
グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

当社では、グリーンローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<INPEXについて>

INPEXは、今後も増加する日本および世界のエネルギー需要に応え、長期にわたりエネルギー開発・安定供給の責任を果たしつつ、2050年ネットゼロカーボン社会の実現に向けたエネルギー構造の変革に積極的に取り組むことを通じて、より豊かな社会づくりに貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を実現することを目指しています。Energy Transformation(EX)のパイオニアとして、石油・天然ガスから水素、再生可能エネルギーまで多様でクリーンなエネルギーを安定供給することを「2050年ネットゼロカーボン社会に向けた基本方針」とし、2030年頃を目指す姿としてネットゼロカーボンを理想から現実に変えていく方針です。

【INPEX】2050年ネットゼロカーボン社会に向けた基本方針



① ①水素・アンモニア、②石油・天然ガス分野のCO₂低減(CCUS[※])、

③再生可能エネルギー、④カーボンリサイクル・新分野、

⑤森林保全の5分野

※ Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage:

CO₂回収・利用・貯留

なお、本件取り組みにあたり、INPEXでは、2021年9月に策定したグリーンボンド・フレームワークを2023年3月にグリーンファイナンス・フレームワーク(以下「本フレームワーク」)に改訂しました。本フレームワークは、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(代表取締役社長:前田 直樹)より、フレームワークの適格性についての検証報告書(※2)の発行を受けています。

<本件の資金使途(グリーンプロジェクト)の概要>

INPEX は、本件により調達した資金を、本フレームワークにおける適格クライテリア(※3)に該当するプロジェクトに対する新規投資またはリファイナンス資金に充当いたします。

(※1)ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2)フレームワークの適格性についての検証報告書

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社のウェブサイトをご参照ください。

https://webmagazine.dnv.co.jp/sus_finance_list.html

(※3)適格クライテリア

「再生可能エネルギーに関する事業」(風力・地熱・太陽光の再生可能エネルギーの開発、建設、運営、改修に関する事業)をいいます。

以 上